

DXO PhotoLab



リリースノート

バージョン 3.3

Windows

必要構成

- Intel Core® 2 Duo、AMD Athlon™ 64 X2 以上（Intel Core® i5 以上推奨）。
- 4 GB の RAM（8GB 推奨）
- 4 GB のハードディスク空き容量
- Microsoft® Windows® 8.1 (64-bit)、Microsoft® Windows® 10 バージョン 1607 以上（64-bit、Microsoft 社がサポートしているもの）。より詳しい情報は、次を参照してください：
<https://support.dxo.com/hc/ja/articles/360015926471>
- DirectX 9.0c 対応システム
- 1GB のビデオメモリーがある OpenCL 1.2 対応グラフィックカード

インストールとアクティブ化

- アプリケーションをインストールする前に、Windows の最新のアップデートのインストールをお勧めします。

DxO PhotoLab 3.3 の新機能

- Nik Collection 3 との互換性:
 - Plugin Selector から新しい Perspective Efex プラグインにアクセスできます。
 - 非破壊 ワークフローを使用して、元のファイルをエクスポートできます。
 - 新しいカメラのサポート
 - Mavic Air
 - X-T200
 - X-A7
 - Coolpix P950
 - PEN E-PL10
 - TG-6
 - Lumix DC GF10/GF90/GX880
 - バグの修正
 - マイナーバグの修正
-

DxO PhotoLab 3.2 の新機能

- 部分調整機能関連の改善
 - 調整マスクを部分調整パレットから複製したり、右クリックすると表示されるコンテキストメニューから複製できるようになりました
 - ブラシツールを使って作成されたマスクと自動マスクを移動できるようになりました
 - 部分調整パレットでマスク名を変更できます
 - 部分調整マスクに関連した機能が、コンテキストメニュー（右クリック）から使えるようになりました
 - 部分調整機能にアクセスするためのキーボードショートカットが追加されました
- キーワード管理の改善
 - キーワードをダブルクリックするか、右クリックすると表示されるコンテキストメニューから、キーワードを編集できるようになりました
 - 複数の写真を選択した場合に、選択された複数の写真に共通したキーワードを視覚的に区別できるようになりました
- 修正ツールの改善
 - 修正ツールのカーソルがアップデートされ、見やすくなりました
 - 修正マスクが、カラー領域ではなく、エッジで表示されるようになりました
 - ソース領域の自動選択は、補正する領域の作成時に一度だけ行われるようになりました
- 新しいカメラのサポート
 - Canon EOS-1D X Mark III
 - Leica D-Lux 7
 - Leica Q2
 - Nikon D780
 - Olympus OM-D E-M1 Mark III
- バグの修正
 - アプリケーションを閉じる原因になっていた複数のシナリオの修正
 - アクセス権が制限されているフォルダに Nik Collection がインストールされた場合
 - マスクにカーソルを置いているときにマスクを反転した場合
 - プリンターへのパスが誤っていた場合
 - キーワードテキストのフィールド選択が、メインウィンドウでマウスを動かしても影響されなくなりました
 - エクスポートした写真が Flickr で正しく表示されるようになりました

- PhotoLab の安定性の向上
 - マイナーバグの修正
-

DxO PhotoLab 3.1 の新機能

- **キーワードのサポート: キーワード管理の追加**
 - 1 枚以上の写真に同時にキーワードを追加または削除できるようになりました
 - キーワード入力フィールドが選択されると、最近使ったキーワードリストが表示され、簡単に利用できます
 - **新しいカメラのサポート**
 - Canon EOS M6 mk II
 - Canon EOS 90D
 - Canon EOS M200
 - Fujifilm GFX 100
 - Nikon Z50
 - Olympus E-M5 mkIII
 - Sony A9 II
 - Sony A6600
 - Sony A6100
 - **バグの修正**
 - PhotoLab の安定性の改善
 - マイナーバグの修正
-

DxO PhotoLab 3.0.3 の新機能

- **バグの修正**
 - 前回のセッション時に画像ブラウザが縮小されていた場合、次回の起動時にアプリケーションがクラッシュしていたバグの修正。
 - [全画面]表示モードでショートカットキー Alt+F4 を使用した場合に、アプリケーションを正しく閉じられるようになりました。
-

DxO PhotoLab 3.0.2 の新機能

- **バグの修正**
 - 特定のケースで PhotoLab 2 データベースの修復を妨げるバグの修正
-

DxO PhotoLab 3.0.1 の新機能

- PhotoLab はローカルハードディスク上の空のディレクトリにのみインストールできます。また、インストール時にユーザーに通知されるメッセージが追加されました。
- 体験版でアプリケーションを最初に起動した際に表示される「デモの有効期限が切れました」というメッセージを修正
- PhotoLab のメインウィンドウを、解像度の異なる 2 つのスクリーン (HD および UHD) 間で適切に移動できるようになりました。
- マイナーバグの修正

DxO PhotoLab の機能

- **RAW と JPEG 画像の高画質な仕上がりをワンクリックで実現できます。** DxO PhotoLab は、インテリジェントな自動補正を実現する総合的なソリューションです。もちろん、手動で調整することもできます。
- **新しい色相/彩度/明度ツールと DxO ColorWheel** では、比類のない精度と柔軟性でカラーを調整できます。
- **改善された修正ツール**では、マニュアルで再配置したり、複製/修正モードの選択、ブラシのぼかしと不透明度の管理が可能です。
- **部分調整の新しいパレット**は、ブラシツール、段階フィルター、コントロールポイント (U-POINT®テクノロジー使用) のパワーを解放します。各マスクの表示/非表示を個別に切り替えたり、不透明度を調整したり、選択したゾーンを反転したりできます。
- **DxO フォトライブラリのキーワード管理**では、これまでにないやり方で写真を検索、ソート、整理できます。
- **DxO Clearview Plus** では、強いハロー効果を発生させることなく白いモヤを効果的に除去して部分的なコントラストをスマートに強調し、写真の仕上がりの可能性を広げます。
- **DxO Smart Lighting** では、写真のダイナミックレンジを最適化し、露光アンダー/露光オーバーの領域のディテールを回復できます。
- **DxO P.R.I.M.E.** では、当社独自のアルゴリズムを使い、ディテールや鮮やかなカラーはそのままに、高感度 RAW 画像のノイズを自動的に除去できます。
- **U-POINT®テクノロジーを活用した部分調整の総合的なソリューション** : ブラシ、段階フィルター、コントロールポイントを使って、簡単にパワフルに写真を部分的に編集することができます。
- **歪み補正と光学シャープネス補正** : 測光とキャリブレーションにおける DxO の評価の高い専門性を活用した補正で、お使いのカメラで撮影された画像の最高のディテールを引き出しましょう。
- **可能性がさらに広がったカラー管理** : ICC プロファイルに加え、DCP カラープロファイルがサポートされたことで、忠実にカラーを再現できます。
- **改善されたその他の機能** :
 - ホワイトバランスのカラーピッカーツールのサンプル範囲の表示
 - 全体修正だけのコピー / ペースト (部分調整を除く)
 - バーチャルコピー作成時のバーチャルコピーの自動選択
 - プロジェクトフィルターの新オプション
 - クロップツールの外側領域の不透明度の調整
 - 「最新の場所」と「アプリケーションへのエクスポート」メニューのエントリー数増加
 - [メタデータ] タブでのファイルサイズの表示

既知の制約事項

- パース歪み補正ツールとボリューム歪像補正ツールを使用するには、DxO ViewPoint プラグインが必要です。
- データ量を削減する圧縮方式 (Lossy DNG) を使った DNG 形式のファイルは、サポートされていません。
- Adobe Lightroom または Adobe DNG Converter 以外の圧縮媒体で作成された DNG ファイルのサポートに関しては、いかなる保証も与えられていません。サポート対象外のカメラに対応した DNG ファイル (変換で作成されたか否かにかかわらず) はサポートされていません。